

まだ「男は仕事、女は家庭」のテレビCM

「ダンスにゴン」は面白いが×

関西を中心に活動が続いている「コマーシャルの中の男女役割を問い直す会」がこのほど、三回目のテレビコマーシャル(CM)コンテストをし、その結果を会報「写真」で報告した。それによると、国連婦人の十年が去年で終わり、今年四月には男女雇用機会均等法が施行されたが、CMの世界ではまだ「男は仕事、女は家庭」の観念が根強く残っているようだ。

コンテストの結果発表

コンテストは、神戸市に住むフリーライター吉田清彦さん(四十九)が世話人、約四十人から寄せられたアンケート、意見をもとに「なかなか好感CM」が、家事としての男の料理を描いたCMはまだまだ少なく、素直に、

なかなか好感

男の家事さりげなく

料理するのは女だけ

そろそろやめて

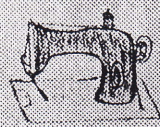
選考形式。去年五月から十月までに放映されたCMが対象となった。

逆に「料理のできる人が理想の荷台で宣伝し「山田さんの奥さん」が大変な「家をお建てになってから」と近所の主婦に

「なかなか好感」では、男性の家事、育児がさりげなく描かれた作品などが評価された。第一位の化学調味料のCMでは、新婚家庭らしい食卓で女性二人が話している。「しあわせそうね」「ええ。君の料理は最高だ。君の料理は天才だて」「言われたの?」「言ったのCMな」

コマーシャルの中の男女役割を問い直す会

会報 NO.3 1986年 春



・「女の働く意識をはかにし、働く女と専業主婦を対立させ女の敵は女、と思わせる」。	1
・「後者の「これ」は明らかに女性を指している」と受け取れる。	2
・「オチが必要なのはわかるが、女をコレ、と表現するのは問題。単に面白CMと笑って済ませられない」と指摘する。	3
・同じCMでも見る人の受けとめ方はさまざま。また「いいにつけ、悪いにつけ、CMは印象に残らなければ意味がない」という観作者側からの言い分もあり、評価はなかなか難しい。	4
・「なるほど、こういう見方もできるのか、という一つのヒントになれば」と同会は願っている。	5
・会報は六十二号、五百円(送料二百円)。コンテストの結果のほか、テレビ以外のコマーシャルなども分析している。希望者は〒657 神戸市灘区上野通七ノ一四の吉田さんへ。	6

て。

コンビニエンスストアで料理

「女の働く意識をはかにし、働く女と専業主婦を対立させ女の敵は女、と思わせる」。

「オチが必要なのはわかるが、女をコレ、と表現するのは問題。単に面白CMと笑って済ませられない」と指摘する。

同じCMでも見る人の受けとめ方はさまざま。また「いいにつけ、悪いにつけ、CMは印象に残らなければ意味がない」という観作者側からの言い分もあり、評価はなかなか難しい。